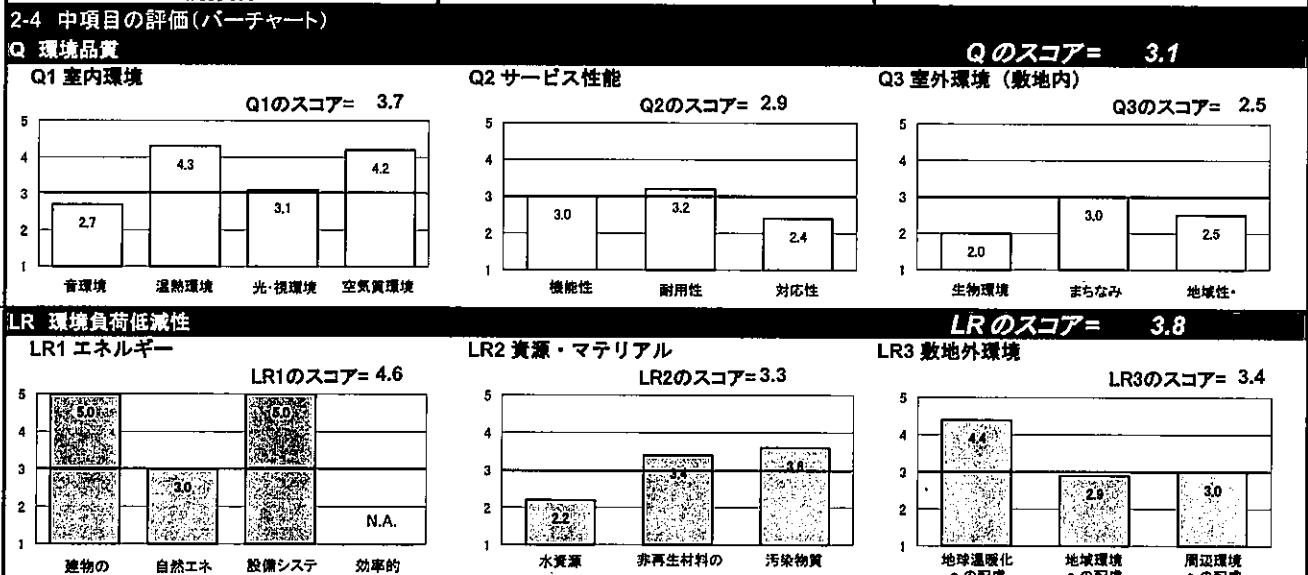


# CASBEE 新築[簡易版]

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)木津川市相楽台一丁目PJ	階数	地上11階
建設地	京都府木津川市相楽台1丁目4番2	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,052 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年11月 予定	評価の実施日	2015年3月12日
敷地面積	8,024 m <sup>2</sup>	作成者	長谷工コーポレーション大阪エンジニアリング
建築面積	2,995 m <sup>2</sup>	確認日	2015年3月15日
延床面積	22,413 m <sup>2</sup>	確認者	長谷工コーポレーション大阪エンジニアリング



3 設計上の配慮事項	
総合	その他 特になし。
道路沿いに緑地を確保している。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
室内環境の向上を目指し、F★★★★★建材を利用している。	劣化対策等級3など、耐久性に優れた建材としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
省エネルギー等級4同等の断熱性を備えている。	躯体と仕上げ材が分別可能な施工方法を採用している。
Q3 室外環境(敷地内)	Q3 室外環境(敷地外)
敷地周辺に緑地を設け、周辺地域への良好な住環境の形成に配慮した。	周辺環境への配慮に重点を置いている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality(建築物の環境品質)、L: Load(建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction(建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency(建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される